



ほけんだより

令和3年 6月1日 西保育所

梅雨入りしましたが、雨は少なく蒸し暑い日が続いています。この時期は、温度・湿度ともに高くジメジメとした環境で体調を崩しやすくなります。子ども達の体調に気を配り、元気に過ごせるようにしていきましょう。

また、新型コロナウイルス感染症が未だに終息せず、新たに緊急事態宣言が発令されました。引き続き手洗いや消毒、換気等の予防を続けていきたいと思ひます。保護者の皆様引き続き新型コロナウイルス感染症対策に、ご理解ご協力をよろしくお願いしします。

お知らせ

- 6/10(木)に、内科検診があります。
- 6/14(月)に、尿検査、ぎょう虫検査を配布します。
15日(火)に尿検査回収、16日(水)にぎょう虫検査を回収しますのでよろしくお願いしします。
- 6/17(木)は、歯科検診があります。(9時～) 歯磨きをして登所してね！

水筒は清潔ですか？

水筒の飲み口、パッキンの部分にカビが発生している場合があります。洗う時に確認し、少なくとも週1回は、漂白剤などで消毒をお願いします。

虫歯予防デー



虫歯を予防するためには、やはり歯みがきが一番大切です。お子さまが歯みがきをした後は仕上げみがきを行い、虫歯を予防しましょう。また、ご飯を食べる時はしっかりとかんで食べる習慣を付けましょう。肥満予防となるだけでなく、唾液がたくさん出ることによって口の中を洗い流し、虫歯を防いでくれる役割があります。



かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがができ、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変！ 水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

※症状によっては、皮膚科の受診、家庭保育をお願いすることもあります。

ぼくたちのつめも、忘れずに短く切ってね



虫刺されの手当て

- ①水でよく洗い流す
- ②虫さされの薬をつける
(さされた直後につけるのが効果的)
- ③かゆみや腫れがひどい時は、冷やす
- ④爪を短くする(「とびひ」の予防)

※かゆみが強く、腫れが続く場合は、皮膚科を受診してください。

暑い季節になってきました。虫たちも活発になる季節です。保育所ではアロマオイルを使って虫除けスプレーを作り、使用しています。**(肌ではなく、服に吹きかけます。)**

成分：無水エタノール、水、アロマオイル
(ユーカリ、シトロネラ、レモンgrass)

※個人的に使用したいものがある場合は、担任までお知らせください。



梅雨の時期の注意点

■食中毒

食中毒は6月から9月頃にかけて多く発生します。お弁当には十分に加熱したものを入れてください。

■事故

雨の日は傘をさすことで視界が悪くなり、事故の危険性が高まります。また、雨で滑りやすく、転びやすくなりますので十分に注意してください。

■かぜ

蒸し暑さから汗をかくことが増えますが、朝夕は気温が下がり寒くなります。汗をかいたらすぐに着替え、寒くなったら上着などで体温調節を行うようにしてください。

